



2026年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月14日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
 コード番号 2798 URL <https://www.ystable.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船曳 瞳雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 武本 尚子
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5412-0065

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	9,669	8.2	138	75.7	200	24.8	150	42.6
2025年2月期第3四半期	8,937	7.7	78	29.5	160	17.1	105	

(注)包括利益 2026年2月期第3四半期 150百万円 (42.6%) 2025年2月期第3四半期 105百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	45.75	
2025年2月期第3四半期	32.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期第3四半期	5,079	829	16.3	251.37
2025年2月期	4,824	678	14.1	205.64

(参考)自己資本 2026年2月期第3四半期 829百万円 2025年2月期 678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期		0.00		0.00	0.00
2026年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	13,081	7.9	401	237.2	485	95.5	527	102.5	160.00	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 社 (社名)

、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期3Q	3,298,400 株	2025年2月期	3,298,400 株
期末自己株式数	2026年2月期3Q	332 株	2025年2月期	282 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年2月期3Q	3,298,084 株	2025年2月期3Q	3,298,133 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げの動きや訪日外国人旅行者数の増加など前向きな動きがみられましたが、不安定な国際情勢や米国の通商政策等の影響により、景気の先行きは引き続き不透明です。

外食業界におきましては、雇用・所得の改善に伴う消費者の外食需要の増加や、インバウンド需要の拡大による回復傾向が続いております。しかしながら、人材不足や物価上昇等が継続していることに加え、日中関係がインバウンド需要に与える影響も懸念されるなど、事業環境は引き続き厳しい状況です。

このような状況の下、当社グループは、高付加価値化、インバウンド需要の取り込み、和食事業の強化、カジュアルイタリアン事業の展開、そして人材不足・コスト高騰への対応といった課題に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきまして、売上高は堅調に推移いたしました。既存店の売上高は、夏場の伸び悩みはあったものの、インバウンド需要の増加等により全般に好調であり、また、前年に新規に出店した店舗が通期で貢献した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を上回りました。利益面におきましては、人材の確保及び育成にかかる費用や販促費用の増加はありましたが、前年同期に計上した、大型店の全面改装に伴う費用が剥落したこと、增收の効果等により、各段階損益において前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高は9,669百万円（前年同期比8.2%増加）、営業利益は138百万円（前年同期比75.7%増加）となりました。また、営業外収益として持分法による投資利益32百万円を計上したこと等により、経常利益は200百万円（前年同期比24.8%増加）となりました。法人税等調整額37百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は150百万円（前年同期比42.6%増加）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りであります。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、引き続き、高付加価値化の方針のもとでブランド力向上のための企画や、インバウンド需要の取り込みに取り組んでまいりました。夏場は来店客数の伸び悩みもありましたが、前年に新規に出店した店舗が貢献したほか、前年、改裝のために一部の期間休業した店舗が当第3四半期連結累計期間は通常営業を行ったことにより、売上高は前年同期を上回って推移いたしました。增收効果に加え、前年の新規出店及び改裝にかかる費用が剥落したことにより、営業利益も前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は3,942百万円（前年同期比10.5%増加）、営業利益は360百万円（前年同期比21.1%増加）となりました。店舗数は直営店10店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについても、付加価値の向上と客単価の引き上げに努めてまいりました。イートインの営業につきましては、客単価引き上げと、前年に新規に出店した店舗の寄与により、売上高は前年同期を上回って推移いたしました。デリバリーの営業につきましても、外部サービスの活用によって件数が増加したことにより、売上高は前年同期を上回って推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は5,726百万円（前年同期比6.7%増加）、営業利益は640百万円（前年同期比23.1%増加）となりました。

店舗の状況につきまして、2025年3月にFC店「SALVATORE CUOMO Cafe mozoワンダーシティ」、同5月に直営店「SALVATORE CUOMO Cafe 福岡空港」、同11月に「OSTERIA SALVATORE 札幌」を、それぞれ新規に出店いたしました。また、FC店「SALVATORE CUOMO & BAR 浦安」は直営化して改裝し、2025年8月に「Tavernetta Salvatore 浦安」としてリニューアルオープンいたしました。直営店「SALVATORE CUOMO & BAR 柏」はFC企業に売却いたしました。直営店「PIZZA SALVATORE CUOMO サブナード」は商業施設のテナント変更に伴い閉店いたしました。これらの結果、店舗数は直営店38店舗、FC店31店舗となりました。

③その他

その他は、人材派遣事業（ただし同事業は休眠中）により構成されております。当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は一百万円（前年同期は売上高一百万円）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,699百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円増加いたしました。これは主として、新規出店による現金及び預金の減少139百万円、売上高の増加による売掛金の増加238百万円等によるものです。固定資産は2,380百万円となり、前連結会計年度末に比べ175百万円増加いたしました。これは主として、新規出店及び店舗設備の維持更新工事を行ったこと等による建物及び構築物の増加101百万円、新規出店等による敷金及び保証金の増加27百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,079百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,030百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円増加いたしました。これは主として、仕入高の増加による買掛金の増加81百万円、金融機関からの借入による短期借入金の増加74百万円、営業活動の活発化等に伴う未払金の増加80百万円等によるものです。固定負債は2,220百万円となり、前連結会計年度末に比べ187百万円減少いたしました。これは主として、返済による長期借入金の減少204百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,250百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は829百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上150百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は16.3%（前連結会計年度末は14.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年10月14日の「2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,533,299	1,393,682
売掛金	625,605	863,916
原材料及び貯蔵品	193,050	189,888
その他	269,986	254,950
貸倒引当金	△2,347	△3,241
流動資産合計	2,619,594	2,699,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	755,081	856,291
その他（純額）	219,232	316,991
有形固定資産合計	974,313	1,173,282
無形固定資産		
その他	8,706	20,342
無形固定資産合計	8,706	20,342
投資その他の資産		
投資有価証券	208,355	241,268
長期貸付金	218,101	158,101
敷金及び保証金	589,639	617,633
その他	205,834	169,999
投資その他の資産合計	1,221,931	1,187,002
固定資産合計	2,204,951	2,380,628
資産合計	4,824,545	5,079,825
負債の部		
流動負債		
買掛金	480,280	561,332
短期借入金	-	74,884
1年内返済予定の長期借入金	222,932	260,251
未払金	657,175	737,555
未払法人税等	4,466	3,434
契約負債	70,571	76,288
株主優待引当金	64,445	45,317
その他	238,663	271,651
流動負債合計	1,738,535	2,030,715
固定負債		
長期借入金	1,466,282	1,261,764
資産除去債務	880,731	876,250
その他	60,760	82,065
固定負債合計	2,407,774	2,220,080
負債合計	4,146,309	4,250,795

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	375,831	375,831
利益剰余金	252,698	403,581
自己株式	△688	△837
株主資本合計	677,841	828,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	394	454
その他の包括利益累計額合計	394	454
純資産合計	678,235	829,029
負債純資産合計	4,824,545	5,079,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	8,937,862	9,669,575
売上原価	7,195,306	7,605,557
売上総利益	1,742,556	2,064,017
販売費及び一般管理費	1,663,848	1,925,741
営業利益	78,707	138,276
営業外収益		
受取利息	4,122	4,762
協賛金収入	24,353	28,719
持分法による投資利益	38,703	32,821
その他	31,658	25,669
営業外収益合計	98,837	91,973
営業外費用		
支払利息	14,156	25,988
その他	2,465	3,350
営業外費用合計	16,621	29,338
経常利益	160,923	200,910
特別損失		
減損損失	2,323	8,610
特別損失合計	2,323	8,610
税金等調整前四半期純利益	158,599	192,300
法人税、住民税及び事業税	3,319	3,434
法人税等調整額	49,501	37,982
法人税等合計	52,820	41,417
四半期純利益	105,778	150,883
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,778	150,883

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	105,778	150,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84	60
その他の包括利益合計	84	60
四半期包括利益	105,862	150,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,862	150,943
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針 第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	122,534千円	147,550千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,569,323	5,368,538	8,937,862	-	8,937,862	-	8,937,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,569,323	5,368,538	8,937,862	-	8,937,862	-	8,937,862
セグメント利益又はセグメント損失(△)	297,874	520,692	818,566	△1,712	816,854	△738,146	78,707

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△738,146千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて2,323千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,942,812	5,726,762	9,669,575	-	9,669,575	-	9,669,575
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,942,812	5,726,762	9,669,575	-	9,669,575	-	9,669,575
セグメント利益又はセグメント損失(△)	360,720	640,948	1,001,669	△1,725	999,943	△861,667	138,276

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△861,667千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて8,610千円の減損損失を計上しております。